

10～80代がともに活動する市民劇団 BIGMOUSE が 花登筐原作の人情喜劇を上演

8/24(土)劇団 BIGMOUSE 公演「お父ちゃんは日本一！」

(公財)宝塚市文化財団では、8月24日(土)に劇団 BIGMOUSE による「お父ちゃんは日本一！」を上演します。

劇団 BIGMOUSE は、当財団の呼びかけで集まった市内の中学生18人で1996年6月に結成。2009年より、小学生から社会人まで対象をひろげ、現在13歳～83歳までの21名が所属しています。児童劇団でも高齢者劇団でもない、異世代が共に活躍できる劇団であることを特徴とし、公演づくりを通じて世代間交流を果たし、相互への理解と敬意を育むことを目的としています。年1回の定期公演のほか、市内福祉施設等への訪問活動も行っており、2014年4月には、宝塚市より「宝塚市制60周年記念・まちづくり功労」を受賞しました。



今回の公演は、劇団として29回目の定期公演となります。これまでに壺井栄原作の「二十四の瞳」や山本周五郎の翻案作品など、様々な作品づくりに取り組んできましたが、今回は「宝塚新芸座」で1972年に上映された花登筐(はなとこばこ)原作の作品にチャレンジします。宝塚新芸座は、小林一三が創設した劇団で、昭和28年から約20年間、大衆的な演劇や舞台の発信の場でした。花登氏は、新芸座から委嘱され、オリジナル作品を次々と上演しました。

花登氏の「おもろい男」を劇団 BIGMOUSE 用に書き直した「お父ちゃんは日本一！」は、幫間を職業とする父と、大会社の子息との結婚を控えた娘を軸に描いた人情喜劇。父の職業を隠す娘の結婚の結末は…。「職業に貴賤無し」「親子の情愛」をテーマに、笑いあり、涙ありの舞台をお届けします。

劇団員は今年4月より同公演に向け稽古に励んでいます。8月からは、ほぼ毎日稽古を行うほか、並行して舞台装置や衣装、小道具の製作作業も行います。8月11日(日)から18日(日)まで(13:00～19:00)の稽古については見学、取材を受け付けております。ご取材いただける場合は、事前にご連絡をいただくと幸いです。

貴媒体におかれましても、この公演を取り上げていただければ幸いです。

- 1 日時 2019年8月24日(土) ①11:00開演 ②15:00開演(各回30分前開場)
- 2 会場 宝塚ソリオホール(宝塚市栄町2-1-1)
- 3 脚本・演出 高波匠志
- 4 出演 劇団 BIGMOUSE
- 5 入場料 前売1,800円(当日2,200円)
- 6 後援 宝塚市、宝塚市教育委員会
- 7 主催・お問い合わせ (公財)宝塚市文化財団 (0797-85-8844 日・祝休み)
事業担当:加藤・吉田 広報担当:三木

「お父ちゃんは日本一！」 あらすじ

ときは昭和中期の京都祇園。関西唯一の帮間(太鼓持ち)の蛸平は、今日もお座敷で大忙し。池田物産の社長をお相手に、調子よくその場を盛り上げます。

そんな蛸平には、長女のすみ子、次女の吸子、三女の八子と娘が3人。この3人娘は、お父ちゃんの仕事には大反対。学校でも就職試験でも父親の職業をどうごまかすか、常に頭を悩ませています。特に長女のすみ子には結婚したい素敵な彼・春夫さんがいます。しかし、その春夫さんは大会社のご子息。お父ちゃんの職業なんて、言えるわけありません。春夫さんに嫌われたくないために、お父ちゃんの職業だけでなく、いろいろと嘘をついてしまうすみ子。

果たして、嘘はバレるのか？春夫さんとは結ばれるのか？結婚の結末はいかに…。

宝塚新芸座で1972年に上演された同作品を、劇団 BIGMOUSE 版にリメイク。蛸平や登場人物のキャラクターはもちろんのこと、お座敷芸の「とらとら」や流行り歌「淡海節」、大道芸「かっぱれ」などもみどころのひとつ。